

# 厚岸町簡易水道事業経営戦略について

## 第1章 策定趣旨と位置付け（1P～3P）

### 1 策定の趣旨

各公営企業が将来にわたって住民生活に重要なサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、総務省では、各地方公共団体に対して「経営戦略策定ガイドライン」に示し、令和2年度（平成32年度）までの「経営戦略」策定を要請しているところです。

この要請を受け、当町では、平成29年度に「厚岸町水道事業経営戦略」の策定を終え、これに基づく経営健全化に向けた取組を進めている一方、残る「厚岸町簡易水道事業経営戦略」を今年度、策定します。

### 2 位置付け

厚岸町簡易水道事業経営戦略は、総合計画との整合性を図りつつ、総務省が策定を求めている「経営戦略策定ガイドライン」に基づき、中期的な事業経営の方針を示したものです。

### 3 計画期間

計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

## 第2章 簡易水道事業の現状と課題（4P～21P）

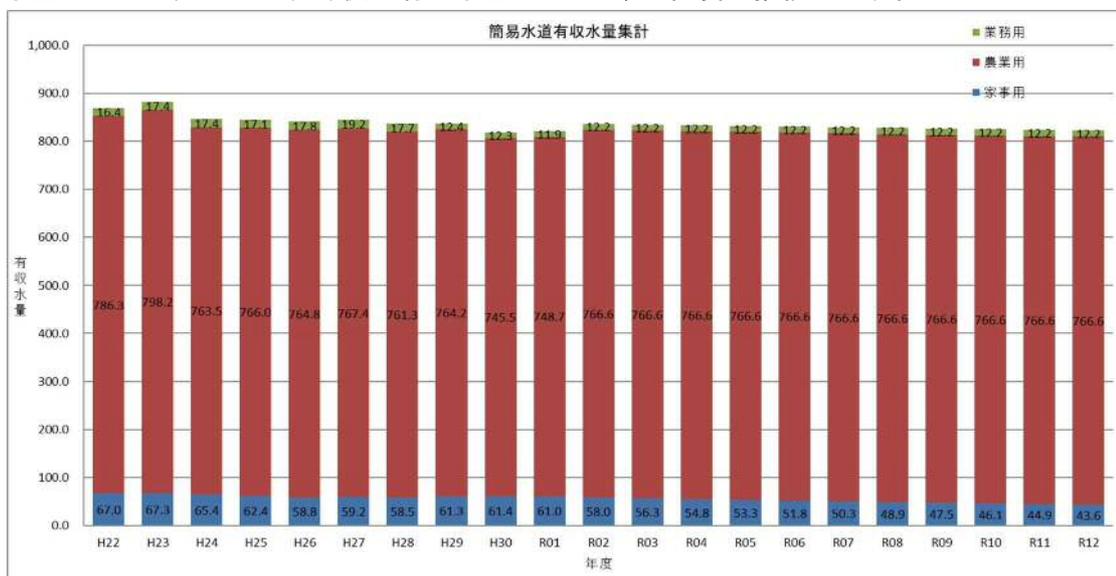
### 1 給水人口

給水人口は、平成22年度の790人から令和元年度には601人に減少しています。平均減少人数は21人/年である。今後もこの傾向は続くと想定されます。

実績に基づき、推計式による予測を行うと、令和12年度には、436人に減少する予測となります。

### 2 給水量

簡易水道事業の有収水量は、一般的には、人口の減少や節水意識の定着、節水機器の普及などにより、生活で使用する水量が減少しますが、簡易水道地域では、全水量の内、農業用の使用水量が約9割を占め、その使用水量がほぼ一定のため、今後も有収水量は830m<sup>3</sup>/日程度で推移します。



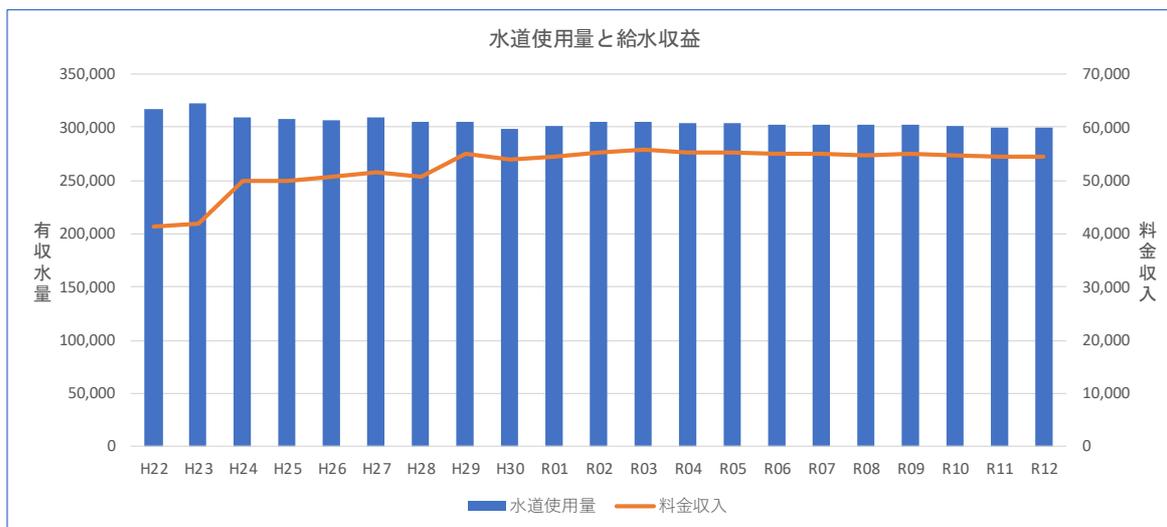
### 3 水道施設

現在、簡易水道事業は糸魚沢簡易水道事業と上尾幌簡易水道事業の2事業です。糸魚沢簡易水道事業は昭和44年に創設し、現在に至っています。上尾幌簡易水道事業は、昭和35年に創設し、その後昭和45年に水量を拡張し、更に平成19年には、太田地区営農用水と片無去地区営農用水を統合し現在に至っています。

### 4 料金収入と経営状況

給水人口が行政人口の減少に比例するように減少しますが、簡易水道地域では農業用での水の使用が大半を占めるため、給水量及び料金収益はほぼ一定と予想しています。

但し、供給単価（販売単価）と給水原価（製造原価）を見ると、現在は、給水原価が供給単価を下回っていますが、今後は老朽化施設の更新に伴い建設改良費が増加するため、令和4年度には給水原価が供給単価を上回ってしまい、不健全な経営状況となります。そのため、健全な運営を確保できるよう水道料金の見直しが必要となります。

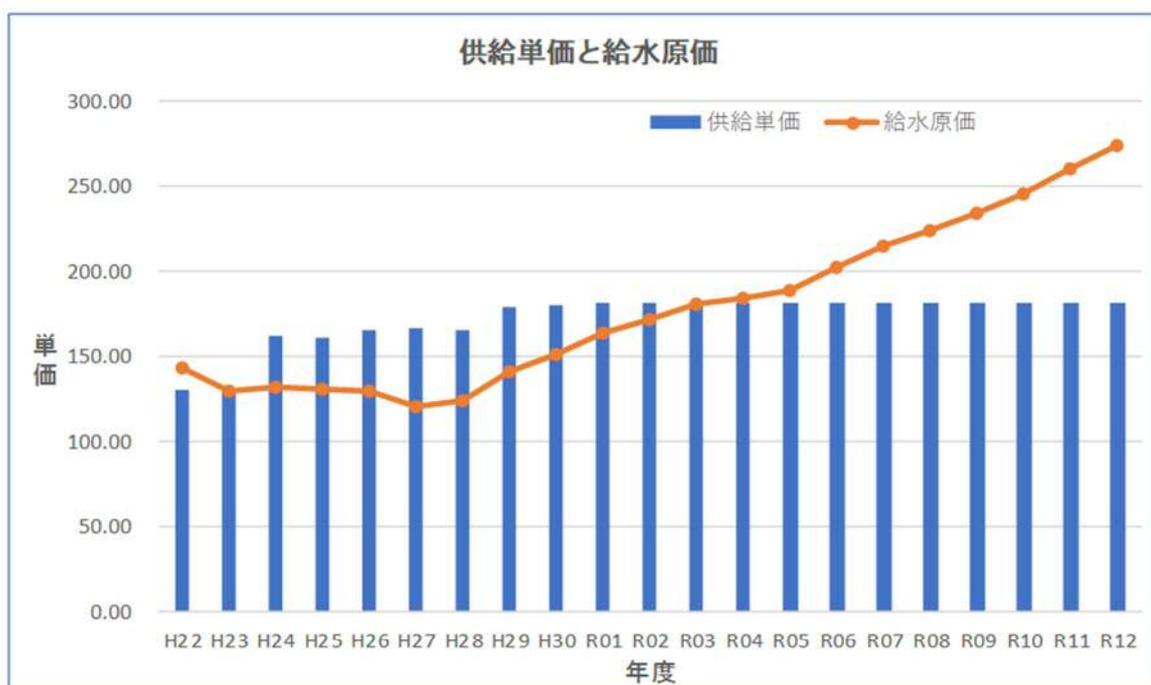


(単位 有収水量：m<sup>3</sup>/日 料金収入：千円/年)

項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
水道使用量	317,441	323,141	308,900	308,608	307,111	309,563	305,688	305,834	299,008	300,706
料金収入	41,412	41,944	49,997	49,840	50,834	51,419	50,611	54,921	53,986	54,596

	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
水道使用量	305,432	304,812	304,264	304,549	303,169	302,622	302,111	302,426	301,089	300,651	300,176
料金収入	55,267	55,831	55,239	55,291	55,040	54,941	54,848	54,905	54,663	54,583	54,497



(単位：円/m<sup>3</sup>)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
供給単価	130.29	129.8	161.85	161.47	165.54	166.12	165.58	179.58	180.56	181.55
給水原価	143.46	130.2	131.52	130.79	129.62	120.98	123.58	141.51	151.80	163.52

	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
供給単価	180.9	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55	181.55
給水原価	171.52	180.6	184.03	188.66	202.19	214.71	223.63	234.22	245.21	260.07	274.1

## 5 災害対策

当面は、安全で安心な水道水を安定して供給できるよう、老朽化した配水管の耐震化が災害対策として重要な課題となっています。

## 6 組織体制

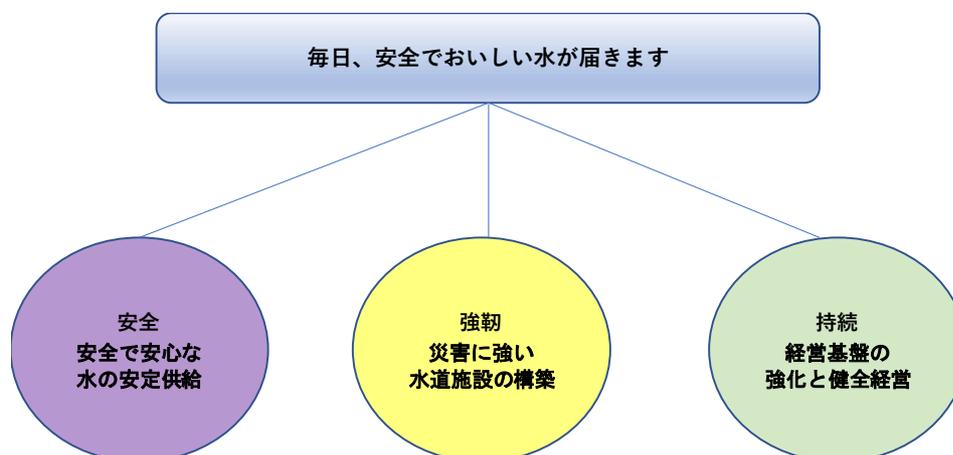
厚岸町は、上水道事業、簡易水道事業、下水道事業の管理と事務処理のために水道課を置いています。今後は、水道事業の運営に必要な知識や経験を有する人材を継続的に育成・確保することが必要となっています。

## 第3章 簡易水道事業の目標（22P～27P）

### 1 基本方針（総合計画）

将来にわたって安全で安心な水を安定的かつ持続的に供給するため、地震や大雨などの自然災害に強い水道施設の更新を計画的かつ着実に実施します。

独立採算制の原則の下、効率的な経営と適切な料金見直しにより、経営基盤の強化を図り、健全な経営を維持します。



### 2 施策の展開方向

#### (1) 安全 ～安全で安心な水の安定供給～

- ① 原水水質の保全
- ② 水質安全対策

#### (2) 強靱 ～災害に強い水道の構築～

- ① 水道施設の防災対策
- ② 応急給水の確保
- ③ 資機材の確保と訓練の実施

#### (3) 持続 ～経営基盤の強化と健全経営～

- ① 技術及び事務基盤の確保と継承
- ② 水道施設の計画的な更新
- ③ 水道施設台帳の整備
- ④ 経営基盤の確立

### 3 計画期間における目標

計画期間における目標

分類	施策	具 体 策	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
安全	① 原水水質の保全	● 水源かん養林の用地取得を継続します。(毎年10ヘクタール取得) 現状：383.02ヘクタール → 令和12年度までに483.02ヘクタール	→										
		● 地下水などの良質な水源調査、確保に努めます。 道営整備事業により新たな水源を確保し、区域の再編を行い、水道水源の安定化を図ります。(太田・片無去地区)	→										
		● 令和5年度までに「北海道水資源の保全に関する条例」の届出を完了します。	→										
	② 水質安全対策	● 水質検査計画の策定、公表を毎年継続します。	→										
強靱	① 水道施設の防災対策	● 簡易劣化診断に基づく更新計画を基に、毎年状況確認を進めます。	→										
		● 新たな地下水源を確保し、緊急時の水の供給対策を図ります。	→										
		● 道営整備事業により老朽施設の更新を検討します。	→										
	② 応急給水の確保	● 関係機関との災害協定による取組を継続します	→										
	③ 資機材の確保と訓練の実施	● 災害を想定した訓練の実施を毎年継続します。(毎年1回)	→										
持続	① 技術及び事務基盤の確保と継承	● 事務職員及び技術職員の確保と継承に努めます。	→										
	② 水道施設の計画的な更新	● 上尾幌地区における3.3kmの配水管路の更新工事を令和14年度までに完成を目指します。	→										
		● 耐用年数を見据え、計画的に維持補修と施設更新を進めます。	→										
	③ 水道施設台帳の整備	● 令和4年度までに、水道施設台帳を整備します。	→										
	④ 経営基盤の確立	● 水道料金の改定の有無にかかわらず、5年に1度料金を見直します。	→										

## 第4章 財政収支の見通し（28P～37P）

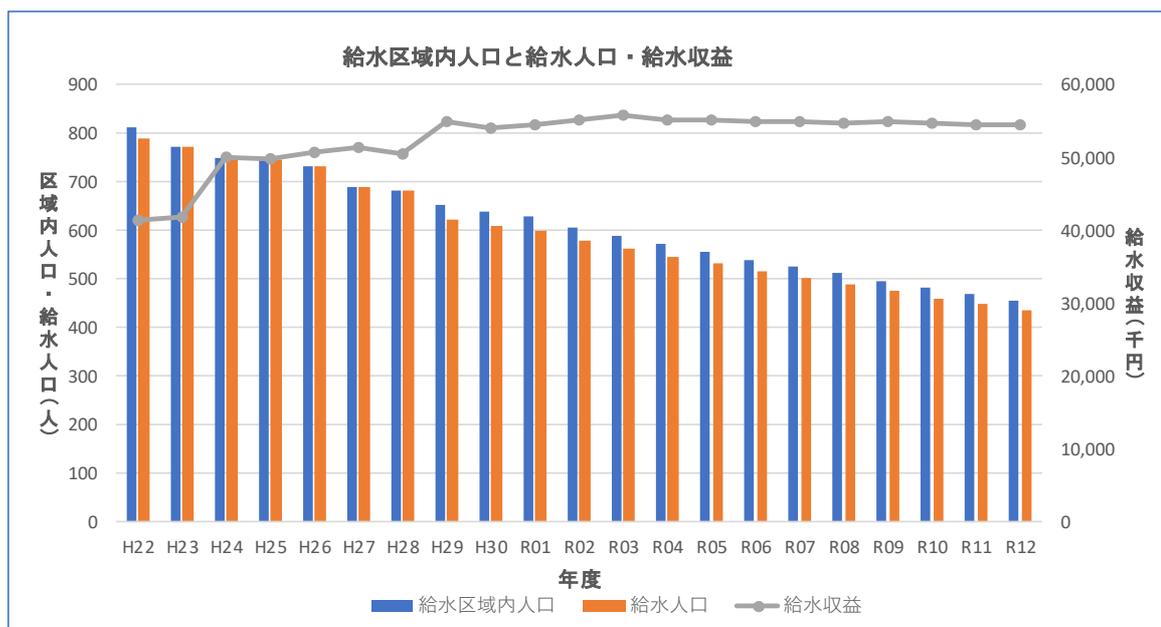
### 1 基本方針

施設の効率的運用や情報通信技術の活用、業務の委託化などにより、経営の効率化と経費の縮減に努めるとともに、適正な原価を基礎に公正妥当で、健全な運営を確保できる料金を設定し、経営の健全化と経営基盤の強化を図ります。

### 2 財政計画

#### (1) 収入

給水人口は行政人口の減少に比例するように減少し、簡易水道地域では農業用の水の使用が大半を占めるため、給水収益は、約5,500万円ではぼ一定となります。



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
区域内人口	814	773	749	747	733	691	683	652	639	629
給水人口	790	773	749	747	733	691	683	624	611	601
給水収益	41,412	41,944	49,997	49,840	50,834	51,419	50,611	54,921	53,986	54,596

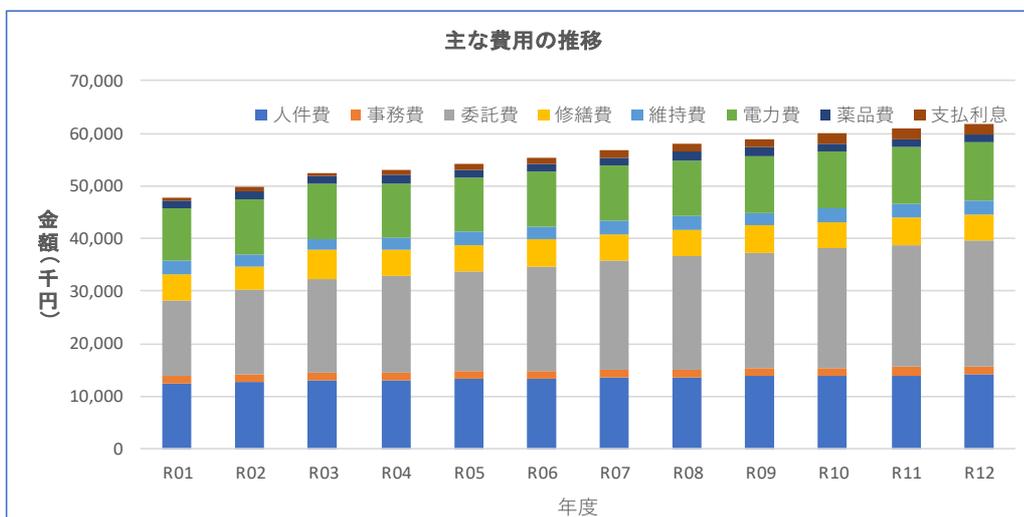
  

年度	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
区域内人口	606	589	573	557	541	526	512	497	483	470	457
給水人口	579	562	547	532	517	502	489	475	461	449	436
給水収益	55,267	55,831	55,239	55,291	55,040	54,941	54,848	54,905	54,663	54,583	54,497

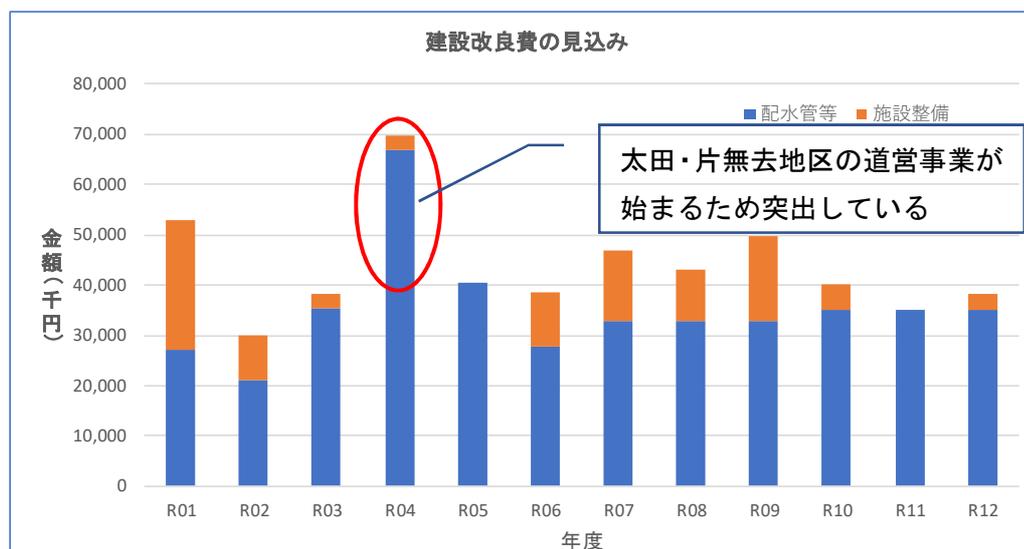
## (2) 支出

収益的支出は、人件費、事務費、委託料、修繕費、維持費、動力費、薬品費、支払利息等で構成されます。大幅な増加とはなりません、上昇傾向が続きます。

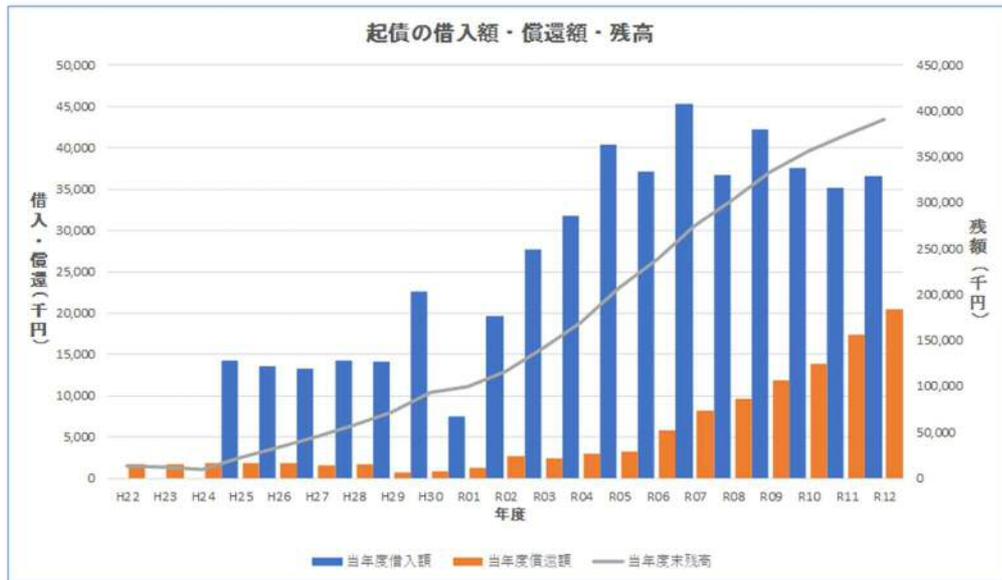
資本的支出は、今後、老朽化した施設及び管路の更新時期となり、更新に必要な建設改良費の平準化を図っても年間約3,500万円から7,000万円が必要となります。また、建設改良費の増加に伴って起債残高も増加します。



項目	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
人件費	12,507	12,856	13,007	13,122	13,257	13,394	13,532	13,671	13,812	13,954	14,098	14,243
事務費	1,459	1,483	1,452	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483
委託費	14,245	16,003	17,874	18,269	19,022	19,908	20,766	21,514	22,086	22,691	23,263	23,890
修繕費	5,087	4,411	5,590	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087
維持費	2,543	2,330	1,961	2,377	2,401	2,425	2,449	2,473	2,498	2,523	2,548	2,573
電力費	9,894	10,486	10,505	10,216	10,321	10,377	10,462	10,550	10,668	10,726	10,823	10,914
薬品費	1,514	1,530	1,530	1,565	1,583	1,593	1,607	1,621	1,640	1,650	1,665	1,679
支払利息	654	639	660	859	1,001	1,180	1,332	1,513	1,644	1,791	1,899	1,978



項目	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
配水管等	27,005	21,087	35,403	66,970	40,390	27,620	32,770	32,770	32,770	35,123	35,123	35,123
施設整備	25,904	8,848	2,960	2,950	0	11,000	14,000	10,330	16,940	5,000	0	3,000
計	52,909	29,935	38,363	69,920	40,390	38,620	46,770	43,100	49,710	40,123	35,123	38,123



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
当年度借入額	0	0	0	14,300	13,600	13,300	14,300	14,100	22,600	7,500
当年度償還額	1,680	1,777	1,881	1,810	1,913	1,619	1,730	801	922	1,270
当年度末残高	13,540	11,763	9,882	22,372	34,059	45,740	58,310	71,609	93,287	99,517

年度	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12
当年度借入額	19,600	27,700	31,725	40,390	37,120	45,270	36,770	42,240	37,623	35,123	36,623
当年度償還額	2,651	2,470	3,016	3,300	5,850	8,257	9,648	11,916	13,926	17,323	20,431
当年度末残高	116,466	141,696	170,405	207,495	238,765	275,778	302,900	333,224	356,921	374,721	390,913

### (3) その他

#### ① 広域化

現在、道が主体となり進めている「水道事業における広域連携に関する検討体制の構築」に積極的に参加し、近隣自治体との危機管理体制の構築、共同購入、維持管理などソフト面において共同化について検討します。

#### ② 民間の技術力を生かした維持管理体制

民間の技術力を活用した効率的な維持運営の検証を行ない、将来の、基幹施設の更新期に合わせ包括委託等も視野に入れ検討を行います。

## (4) 財政収支計画

## 財政収支計画【簡水】(料金据置きの場合)

(単位：千円)

項目	年度	決算	決算見込	当初予算	見込								
					R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
歳入	水道使用料	54,596	55,267	55,831	55,239	55,291	55,040	54,941	54,848	54,905	54,663	54,583	54,497
	水道手数料	53	61	26	53	53	53	53	53	53	53	53	53
	補償金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国・道補助金	8,920	1,182	1,480	1,475	0	1,500	1,500	4,000	7,470	2,500	0	1,500
	長期借入金	7,500	19,600	27,700	31,725	40,390	37,120	45,270	36,770	42,240	37,623	35,123	36,623
	前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	641	0	234	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繰入金	30,373	6,264	8,192	37,472	2,161	6,254	10,031	15,039	15,926	19,165	23,603	27,778
計	102,083	82,374	93,463	125,964	97,895	99,967	111,795	110,710	120,594	114,004	113,362	120,451	
歳出	人件費	12,507	12,856	13,007	13,122	13,257	13,394	13,532	13,671	13,812	13,954	14,098	14,243
	事務費	1,459	1,483	1,452	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483
	委託費	14,245	16,003	17,874	18,269	19,022	19,908	20,766	21,514	22,086	22,691	23,263	23,890
	修繕費	5,087	4,411	5,590	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087
	維持費	2,543	2,330	1,961	2,377	2,401	2,425	2,449	2,473	2,498	2,523	2,548	2,573
	動力費(光熱水費)	9,894	10,486	10,505	10,216	10,321	10,377	10,462	10,550	10,668	10,726	10,823	10,914
	薬品費(消耗品費)	1,514	1,530	1,530	1,565	1,583	1,593	1,607	1,621	1,640	1,650	1,665	1,679
	償還金	1,270	2,651	2,471	3,016	3,300	5,850	8,257	9,648	11,916	13,926	17,323	20,431
	償還金利子	654	639	660	859	1,001	1,180	1,332	1,513	1,644	1,791	1,899	1,978
	工事請負費・委託料	52,910	29,935	38,363	69,920	40,390	38,620	46,770	43,100	49,710	40,123	35,123	38,123
	その他	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
計	102,083	82,374	93,463	125,964	97,895	99,967	111,795	110,710	120,594	114,004	113,362	120,451	
歳入-歳出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

財 政 収 支 計 画 【 簡 水 】 (料金改定の場合)

(単位：千円)

年度 項目	決算	決算見込	当初予算	見込									
	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	
歳入	水道使用料	54,596	55,267	55,831	64,818	64,811	64,447	64,262	64,089	64,092	63,743	63,595	63,434
	水道手数料	53	61	26	53	53	53	53	53	53	53	53	53
	補償金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国・道補助金	8,920	1,182	1,480	1,475	0	1,500	1,500	4,000	7,470	2,500	0	1,500
	長期借入金	7,500	19,600	27,700	31,725	40,390	37,120	45,270	36,770	42,240	37,623	35,123	36,623
	前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	641	0	234	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繰入金	30,373	6,264	8,192	27,893	0	0	710	5,798	6,739	10,085	14,591	18,841
計	102,083	82,374	93,463	125,964	105,254	103,120	111,795	110,710	120,594	114,004	113,362	120,451	
歳出	人件費	12,507	12,856	13,007	13,122	13,257	13,394	13,532	13,671	13,812	13,954	14,098	14,243
	事務費	1,459	1,483	1,452	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483
	委託費	14,245	16,003	17,874	18,269	19,022	19,908	20,766	21,514	22,086	22,691	23,263	23,890
	修繕費	5,087	4,411	5,590	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087	5,087
	維持費	2,543	2,330	1,961	2,377	2,401	2,425	2,449	2,473	2,498	2,523	2,548	2,573
	動力費(光熱水費)	9,894	10,486	10,505	10,216	10,321	10,377	10,462	10,550	10,668	10,726	10,823	10,914
	薬品費(消耗品費)	1,514	1,530	1,530	1,565	1,583	1,593	1,607	1,621	1,640	1,650	1,665	1,679
	償還金	1,270	2,651	2,471	3,016	3,300	5,850	8,257	9,648	11,916	13,926	17,323	20,431
	償還金利息	654	639	660	859	1,001	1,180	1,332	1,513	1,644	1,791	1,899	1,978
	工事請負費・委託料	52,910	29,935	38,363	69,920	40,390	38,620	46,770	43,100	49,710	40,123	35,123	38,123
	その他	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
計	102,083	82,374	93,463	125,964	97,895	99,967	111,795	110,710	120,594	114,004	113,362	120,451	
歳入-歳出	0	0	0	0	7,359	3,153	0	0	0	0	0	0	